

5. 下記の1又は2のどちらかを選択		
5-1. 荷主からの推薦・表彰又は経営の安定化について		
(1) 荷主からの推薦を受けている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2) 荷主からの推薦状の写しを添付してあるか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(3) 経営が安定的に行われてきている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(4) 経営が安定的に行われていることに関する宣誓書は添付してあるか。【第11号様式の2】	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5-2. 安全運転の確保について		
(1) 「運転記録証明書」を取り寄せ、個別指導に活用している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2) (1)に係る宣誓書を添付しているか。【第12号様式】	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 3項のドライバー教育の実施について各資料に関しては、自社作成のものでも内容・要件を満たしているものであれば、その写にかえて添付可。

※ 申請書類にこのチェックシートを添付して下さい。

○申請書類は全てA4で統一し添付してください。

認定証の写しを添付

認定証番号
1890001



安全性優良事業所認定証

事業所名：〇〇通運株式会社
〇〇貨物ターミナル支店

住 所：〇〇県〇〇市〇〇区
〇〇町1丁目1番11号

上記事業所は、2019年度貨物自動車運送事業安全性評価事業において、貨物自動車運送事業法に規定する輸送の安全確保等に関する下記事項について評価した結果「安全性優良事業所」として認定したことを証します。

評価事項 I. 安全性に対する法令の遵守状況
II. 事故や違反の状況
III. 安全性に対する取組の積極性

有効期間 202■年1月1日～202■年12月31日
(■年間)

20■年12月15日

国土交通大臣指定
全国貨物自動車運送適正化事業実施機関
公益社団法人 全日本トラック協会

会 長 坂本 克己



○無事故である旨の宣誓書（第4号様式）

(第4号様式)

無事故である旨の宣誓書

弊社は、令和4年4月～令和7年3月までの3年間について、●●運輸支局管内の事業所において、自動車事故報告規則（昭和26年運輸省令第104号）第2条に規定する事故であって、表彰の基準の規定に該当する事故について、第1当事者又は第1当事者と推定される重大な事故を惹起していないことを報告します。

なお、申請期間より表彰日の間に、上記の重大事故を発生させた場合は、表彰を辞退させていただきます。

上記について、宣誓いたします。

令和7年 3月 1日
(申請日を記入)

北海道運輸局 ●●運輸支局長 殿

株式会社 北ト協運輸
社長 山田 太郎
又は(○○営業所長 山田 次郎)

支局名 (札幌・函館・室蘭・旭川・帯広・北見・釧路)

※無事故の確認について

⇒ ・ 表彰日直前の3年間、無事故で自動車事故報告の提出がないか。

※同じ運輸支局管内において車両配置のある他営業所がある場合はそれも含みます。

○ 運転者教育の実施に関する宣誓書（第5号様式）

(第5号様式)

運転者教育の実施について

私ども **(株)北ト協運輸 本社** 営業所は、令和 **6** 年度の1年間に別添の資料のとおり **事故防止会議** などの運転者教育を、年間計画表やカリキュラムに基づいて所属運転者全員に対して実施しましたので、報告いたします。

会社名及び営業所名を記入する

令和7年 **3** 月 **1** 日
(申請日を記入)

北海道運輸局 **●●** 運輸支局長 殿

株式会社 **北ト協運輸**
社長 **山田 太郎**
又は (**○○** 営業所長 **山田 次郎**)

支局名 (札幌・函館・室蘭・旭川・帯広・北見・釧路)

ドライバー教育の実施について

⇒ ・ドライバー全員に対するドライバー教育を実施している。

・ **ドライバー教育については次のいずれか 1つ以上を記入してください。**

- a 事故防止会議を実施している。
- b 安全衛生会議を実施している。
- c グループによる危険予知訓練又はヒヤリ・ハット活動を実施している。
- d 交通事故防止に係るQC活動を実施している。
- e 小グループによる安全活動を実施している。
- f 交通事故防止等輸送の安全性確保に関する会議又は活動を実施している。
- g 上記以外のもので同様の内容の教育を実施している。

○年間計画表（第6号様式の2（運輸支局長表彰用））

（第6号様式の2）			
年間計画表（令和6年度）事故防止会議			
月	① 告示項目	② 告示項目以外	備考
4月	トラックを運転する場合の心構え		
5月	適切な運行経路等		
6月	関係法令の遵守すべき事項	危険予知訓練	
7月	危険予測及び回避		
8月	トラックの構造上の特性		
9月	運転者の運転適性に応じた運転		
10月	貨物の正しい積載方法		
11月	生理・心理的要因への対処方法		
12月	過積載の危険性	ヒヤリ・ハット活動	
1月	健康管理の重要性		
2月	危険物運搬の留意事項などを記載 ※危険物を扱っていないところは独自の もので構いません。		
3月	安全性の向上を図るための装置を 備えるトラックの適切な運転方法		

株式会社 北ト協運輸

定期的な実施について

- ⇒ a 令和6年度の年間計画表を作成している。 ※事業者で作成した既存の計画表でも可
 b 教育カリキュラムを作成している。
 c 全員が受講している。

※運転者教育12項目

1. 運転の心構え 2. 適切な運行経路等 3. 関係法令の遵守すべき事項 4. 危険の予測及び回避
 5. トラックの構造上の特性 6. 運転者の運転適性に応じた運転 7. 貨物の正しい積載方法
 8. 生理・心理的要因への対処方法 9. 過積載の危険性 10. 健康管理の重要性 11. 危険物運搬の留意事項などを記載 12. 安全性の向上を図るための装置を備えるトラックの適切な運転方法

○運転者教育台帳（第7号様式）

（第7号様式）				
（株）北ト協運輸				
運転者教育台帳				
氏名	鈴木一郎		生年月日	S45年 4 月 30 日
雇入年月日	H1年 4 月 1 日		選任年月日	H1年 7 月 1 日
実施年月日	時間	場所	指導教育内容	実施者
R6.05.10.	9:00~12:00	事務所 会議室	運転の心構え	所長、教育 係長

※5号様式で示した内容を記入し、教育に使用した資料も一緒に添付して下さい

※なお上記様式又は※事業者で作成した既存の教育記録でも可

○デジタル式運行記録計又はドライブレコーダーの装着に関する宣誓書
 (第10号様式の2 (運輸支局長表彰用))

作成例 1

(第10号様式の2)

デジタル式記録計又はドライブレコーダーの装着について

当該事業所におけるデジタル式運行記録計又はドライブレコーダーの装着については、令和7年4月1日現在、以下のとおり配置車両の90%以上に対して、デジタル式運行記録計又はドライブレコーダーを装着しています。
 その効果については、ドライバー教育に **事故防止や省エネ運転という** 形で反映させています。

全配置車両数	9台 (A)
内デジタル式運行記録計装着車両数	2台 (B)
内ドライブレコーダー装着車両数	4台 (C)
内デジタコ・ドラレコ併用装置装着車両数	3台 (D)
((B) + (C) + (D)) ÷ (A) ≥ 90%	

登録番号	デジタル式運行記録計の装着 (B)	ドライブレコーダーの装着 (C)	デジタコ・ドラレコ併用装置の装着 (D)※1
札幌〇〇あ〇〇-〇〇	〇〇社製 (機器モデル)		
札幌〇〇い〇〇-〇〇	YZ社製 DTG1等		
札幌〇〇う〇〇-〇〇		〇〇社製 (機器モデル)	
札幌〇〇え〇〇-〇〇		Y社製 ST-500等	
札幌〇〇か〇〇-〇〇		〇〇社製〇〇〇〇	
札幌〇〇き〇〇-〇〇		〇〇社製〇〇〇〇	
札幌〇〇く〇〇-〇〇			〇〇社製 (機器モデル)
札幌〇〇け〇〇-〇〇			F社製 DTS-D2D等
札幌〇〇こ〇〇-〇〇			〇〇社製〇〇〇〇
札幌〇〇あ 〇-〇〇			
計 10台	小計 2台	小計 4台	小計 3台

以上、報告します。

北海道運輸局 ●●運輸支局長 殿

令和7年 3月 1日
 (申請日を記入)
 株式会社 北ト協運輸
 社長 山田 太郎
 又は(〇〇営業所長 山田 次郎)

支局名 (札幌・函館・室蘭・旭川・帯広・北見・釧路)

デジタル式運行記録計・ドライブレコーダーの装着について

⇒・表彰予定の事業所の配置車両の90%以上にデジタル式運行記録計又はドライブレコーダーが装着されていることが必要。また営業所の配置車両は一般貨物での自動車数で**軽貨物車**は含みません。

※1 デジタコ・ドラレコ併用装置とは1つの機器で両方の機能を有するものになります。

※配置車両数が多い事業所で、別紙で作成した一覧表を添付する場合

○デジタル式運行記録計又はドライブレコーダーの装着に関する宣誓書 **作成例 2**
 (第10号様式の2 (運輸支局長表彰用))

(第10号様式の2)

デジタル式記録計又はドライブレコーダーの装着について

当該事業所におけるデジタル式運行記録計又はドライブレコーダーの装着については、令和7年4月1日現在、以下のとおり配置車両の90%以上に対して、デジタル式運行記録計又はドライブレコーダーを装着しています。

その効果については、ドライバー教育に **交通事故防止という** 形で反映させています。

全配置車両数	30	台 (A)	←※申請日時点での正確な全配置車両数	
内デジタル式運行記録計装着車両数	20	台 (B)		
内ドライブレコーダー装着車両数		台 (C)		
内デジタコ・ドラレコ併用装置装着車両数	8	台 (D)		

((B) + (C) + (D)) ÷ (A) ≥ 90%

登 録 番 号	デジタル式運行記録計の装着 (B)	ドライブレコーダーの装着 (C)	デジタコ・ドラレコ併用装置の装着 (D)※1
別紙一覧表 参照			
計	台	小計	台

以上、報告します。

北海道運輸局 **●●**運輸支局長 殿

令和7年 **3**月 **1**日
 (申請日を記入)
 株式会社 北ト協運輸
 社長 **山田 太郎**

支局名 (札幌・函館・室蘭・旭川・帯広・北見・釧路) 又は(○)営業所長 **山田 次郎**

デジタル式運行記録計・ドライブレコーダーの装着について
 ⇒・表彰予定の事業所の配置車両の**90%以上**にデジタル式運行記録計又はドライブレコーダーが装着されていることが必要。また営業所の配置車両は一般貨物での自動車数で**軽貨物車**は含みません。
 ※1 デジタコ・ドラレコ併用装置とは1つの機器で両方の機能を有するものになります。

別紙車両一覧表

作成例2 別紙

登録番号	デジタル式運行記録計の装着	ドライブレコーダーの装着	デジタルドラレコ併用装置の装着
1 札幌〇〇 あ 12-34	〇〇社製〇〇〇〇		
2 札幌〇〇 あ 12-35	〇〇社製〇〇〇〇		
3 札幌〇〇 あ 12-36	〇〇社製〇〇〇〇		
4 札幌〇〇 あ 12-37	〇〇社製〇〇〇〇		
5 札幌〇〇 あ 12-38	〇〇社製〇〇〇〇		
6 札幌〇〇 あ 12-39	〇〇社製〇〇〇〇		
7 札幌〇〇 あ 12-40	〇〇社製〇〇〇〇		
8 札幌〇〇 あ 12-41	〇〇社製〇〇〇〇		
9 札幌〇〇 あ 12-42	〇〇社製〇〇〇〇		
10 札幌〇〇 あ 12-43	〇〇社製〇〇〇〇		
11 札幌〇〇 あ 12-44	〇〇社製〇〇〇〇		
12 札幌〇〇 あ 12-45	〇〇社製〇〇〇〇		
13 札幌〇〇 あ 12-46	〇〇社製〇〇〇〇		
14 札幌〇〇 あ 12-47	〇〇社製〇〇〇〇		
15 札幌〇〇 あ 12-48	〇〇社製〇〇〇〇		
16 札幌〇〇 あ 12-49	〇〇社製〇〇〇〇		
17 札幌〇〇 あ 12-50	〇〇社製〇〇〇〇		
18 札幌〇〇 あ 12-51	〇〇社製〇〇〇〇		
19 札幌〇〇 あ 12-52	〇〇社製〇〇〇〇		
20 札幌〇〇 あ 12-53	〇〇社製〇〇〇〇		
21 札幌〇〇 あ 12-54			〇〇社製〇〇〇〇
22 札幌〇〇 あ 12-55			〇〇社製〇〇〇〇
23 札幌〇〇 あ 12-56			〇〇社製〇〇〇〇
24 札幌〇〇 あ 12-57			〇〇社製〇〇〇〇
25 札幌〇〇 あ 12-58			〇〇社製〇〇〇〇
26 札幌〇〇 あ 12-59			〇〇社製〇〇〇〇
27 札幌〇〇 あ 12-60			〇〇社製〇〇〇〇
28 札幌〇〇 あ 12-61			〇〇社製〇〇〇〇
29 札幌400 あ 12-00			
30 札幌400 あ 12-01			
計 28台	小計 20台	小計 台	小計 8台

○経営の安定化に関する宣誓書について（第11号様式の2（運輸支局長表彰用））

（第11号様式の2）

経営の安定化に関する宣誓書について

（例示－1）

弊社は、Gマーク取得後の平成18年より、特定の荷主（（株）**北海食品**の**野菜**を**平成18年～平成●●年**の間を毎日運送している）を開拓できたことにより、売上に大きく貢献（平成〇〇年と比べ5%アップした）することにより、当該**本社**事業所における経営が安定しました。

（例示－2）

弊社は、Gマーク取得後の平成18年より、Gマーク取得を評価する複数の荷主（（株）**北海食品**、**石狩食品（株）**、**（株）千歳フーズ**）から貨物量増加の依頼を受けたことにより、当該**本社**事業所における売上が**150%**向上することができました。

（例示－3）

弊社は、Gマーク取得後の平成18年より、従来の荷主である（株）**北海食品**から更なる信頼を勝ち得ることができました。その結果、それまで**横ばい**だった貨物の量がこれを契機として倍の量を得ることができ、当該**本社**事業所における経営が安定しました。

以上、報告します。

北海道運輸局 ●●運輸支局長 殿

令和7年 3月 1日

（申請日を記入）

株式会社 **北ト協運輸**

社長 **山田 太郎**

支局名（**札幌・函館・室蘭・旭川・帯広・北見・釧路**）

又は（**〇〇**営業所長 **山田 次郎**）

荷主からの推薦・表彰又は経営の安定化について

⇒・荷主企業から、表彰状、感謝状などがある場合はその写しを貼付してください。

○運転記録証明書の活用についての宣誓書について（第12号様式）

（第12号様式）

運転記録証明書の活用についての宣誓書

弊社の当該 ●● 営業所においては、令和6年4月1日～令和7年3月31日までの1年間に、選任運転者の3割以上に対して運転記録証明書を取り寄せ、運転者の違反の管理、個別指導に活用しました。

営業所名のみを記入する

〈 または ↓ 〉

（令和4年4月1日～令和7年3月31日までの3年間に、選任運転者の全員に対して同様に活用した場合も含まれますので、その場合は、それに応じた記述に変更して下さい。なお、取り寄せている期間が必ずしも同期間と一致しない場合は、できるだけ基準日に近い期間での実施とし、その後も同様の措置を講ずる旨を宣誓書に記載して下さい。）

以上、報告します。

北海道運輸局 ●● 運輸支局長 殿

令和7年 3月 1日
（申請日を記入）
株式会社 北ト協運輸
社長 山田 太郎
又は（○○営業所長 山田 次郎）

支局名（札幌・函館・室蘭・旭川・帯広・北見・釧路）

安全運転の確保について

⇒ a「運転記録証明書」を取り寄せ、個別指導に活用している。

※本申請における運転記録証明書の添付は必要ありません。